

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

# 古代西アジアのワイン —酒器からみた都市化—

*Wine in Ancient West Asia: the urbanization  
viewed from drinking vessels*



円環状注口土器(シリア、テル・カンナス  
出土、約5300年前)

(Aruz, J., K. Benzel and J.M. Evans  
(eds.) 2008 Beyond Babylon: Art,  
Trade and Diplomacy in the Second  
Millenium B.C. New York, The  
Metropolitan Museum of Art.)

人類史において、酒は嗜好品として古くから親しまれてきた。とく西アジア周辺ではワインがいち早く開発されてきた。本報告では、古代西アジアにおけるワインの起源と展開について考古学的に推察していく。ワイン用に使われたと推定される酒器を通して、古代西アジアの社会がどのように変容していったのかを概説する。

- ◆ **日時**： 2017年1月12日(木) 17:00-18:00
- ◆ **報告者**： 小泉龍人氏(東京大学東洋文化研究所・特任研究員)
- ◆ **コメント**： 森本一夫氏(東京大学東洋文化研究所・准教授)
- ◆ **会場**： 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

※ 報告は日本語で行われます。



東京大学  
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク  
Network for Education and Research on Asia

